

番 号： 140824

国 名： バングラデシュ

担当部署： 地球環境部 環境管理グループ環境管理第一チーム

件 名： ダッカ圏廃棄物管理能力強化プロジェクト詳細計画策定調査（廃棄物管理/
評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務： 廃棄物管理/評価分析
- (2) 格 付： 3号
- (3) 業務の種類： 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間： 2014年11月下旬から 2014年12月中旬まで
- (2) 業務M/M： 国内 0.50M/M、現地 0.70M/M、合計 1.20M/M
- (3) 業務日数： 準備期間 現地業務期間 整理期間
5日 21日 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 1部
- (2) 見積書提出部数： 1部
- (3) 提出期限： 10月15日(12時まで)
- (4) 提出方法： 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービ
ル)(いずれも提出期限時刻必着)

※2014年 2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子
媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。提出方法等詳細につい
てはJICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサル
タント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導
入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))
をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、
ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
 - ①業務実施の基本方針 16点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等
 - ①類似業務の経験 40点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 16点
 - ③語学力 8点
 - ④その他学位、資格等 16点
- (計100点)

類似業務：	廃棄物管理に係る各種業務
対象国／類似地域：	バングラデシュ／全途上国
語学の種類：	英語

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：特になし

6. 業務の背景

バングラデシュでは、都市への人口集中や市街地の拡大が急速に進んでおり、それに伴い、都市における廃棄物量の増加、大気汚染の深刻化、スラム拡大など、悪化する都市環境への対応が緊急の課題となっている。とりわけ、バングラデシュの首都のダッカ市（現在は南北に分割されている）は人口 1,200 万人を超えており、人口急増と経済発展により、ますます増大する廃棄物の管理が大きな社会的課題となっている。

2011 年の南北分割以前の旧ダッカ市ではダッカ市役所（DCC）が廃棄物管理事業を担っていたが、廃棄物管理に係る事業実施体制の脆弱さ、計画の欠如、機材不足、住民の衛生意識の低さなどの理由により、適切な廃棄物管理が行われてこなかった。このため、JICA は、開発調査「ダッカ市廃棄物管理計画策定調査（以下、「開発調査」）

（2003 年 11 月～2006 年 3 月）により、2015 年を目標年次とした「クリーンダッカ・マスタープラン」策定を支援し、マスタープランに基づく既存処分場の管理・改善に係るフォローアップ協力（2006 年）、債務削減相当資金による既存処分場への衛生埋立方式の導入及び処分場の拡張（2006 年～2011 年）に関する支援、住民意識向上及び住民参加型収集活動の普及を目的とした環境教育分野の青年海外協力隊の配置（2006 年～現在）等を通じて、DCC が行う廃棄物管理の適正化に向けた取り組みを支援してきた。さらに、廃棄物の収集運搬を中心とした廃棄物管理全般の技術面・マネジメント面の課題に対処するため、廃棄物管理局の組織化、DCC 職員の能力強化、住民・コミュニティと連携した収集運搬システムの制度づくり及び労働安全衛生強化等を含む、廃棄物管理にかかる包括的なキャパシティ・ディベロップメント支援を目的として、2007 年 2 月から 2013 年 2 月まで約 6 年間（延長期間を含む）、技術協力プロジェクト「ダッカ市廃棄物管理能力強化プロジェクト」を実施した。加えて、環境プログラム無償「廃棄物管理低炭素化転換計画」（2008 年～2013 年）を実施し、約 100 台の廃棄物収集車両及びメンテナンス用ワークショップを供与した結果、ダッカ市のごみ収集率は、環境プログラム無償の開始時点で 46%であったものが 60%超に大きく改善された。

しかし、現在でも、南北ダッカ市における廃棄物未収集地区が依然として存在することに加えて、南北ダッカ市の分割によるマスタープランの見直し、処分場の埋立残存年数が少ないことに伴う広域化への対応等が必要であり、廃棄物管理に関する多くの課題への対応が必要である。この認識に基づき、今般、南北ダッカ市は我が国政府に対しダッカ圏における廃棄物管理能力向上を目的とした技術協力の支援を要請した。

同要請を踏まえて、詳細計画策定調査では関係諸機関の業務状況及び体制等を確認し、プロジェクトの実施に向けた情報を分析・整理したうえで、プロジェクトの内容を提案・協議し、プロジェクトの内容を協議議事録（M/M）に合意すること目的としている。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを予め十分に理解した上で、他の団員と協力して中央政府及び各都市等を対象として以下の調査を行う。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては、監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2014年11月下旬）

- ①要請背景・内容を把握する（要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析）。
- ②担当分野に係る詳細計画策定調査方針・計画案を作成し、JICA地球環境部担当者との調整しつつ、現地調査での調査項目を明らかにする。
- ③現地調査で収集すべき情報を検討し、バングラデシュ側関係機関（C/P機関、他ドナー等）に対する質問票（案）（英文）を作成し、JICA地球環境部担当者との協議を踏まえて質問票を最終化する。（最終版はJICA地球環境部がJICAバングラデシュ事務所を通じて先方関係機関に送付する。）。
- ④国内作業で得られた情報に基づいて、プロジェクトのPDM（Project Design Matrix）案、PO（Plan of Operations）案の作成に協力する。
- ⑤調査団内打合せ、対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間（2014年11月下旬～12月中旬）

- ①JICAバングラデシュ事務所等との打合せに参加する。
- ②バングラデシュ側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③他団員と協力し、質問票の回収を行い、結果を分析するとともに、各ヒアリングの議事録作成及び担当分野に係る情報・資料を収集し、現状を把握する。具体的には以下のとおり。
 - ア) バングラデシュ中央政府レベルの調査事項
 - a. 廃棄物関連法
 - b. 関連省庁の廃棄物管理に係る政策と取り組み、課題の抽出
 - c. 自治体間の連携、広域連合に関する取り組みの有無の確認、課題の抽出
 - イ) 各都市等での調査事項
 - a. 南北ダッカ市と周辺都市等の廃棄物管理に係る組織運営状況
 - b. 南北ダッカ市と周辺都市等の廃棄物収集運搬・処分状況に関するデータ収集・分析
 - c. 南北ダッカ市と周辺都市等の自治体間の連携の現状の確認、課題の抽出
 - ウ) その他
 - a. 他ドナーの支援状況
 - b. 貧困・ジェンダーについて配慮すべき事項
- ④南北ダッカ市と周辺都市等による廃棄物管理の実施促進に必要な技術協力内容を検討する。
- ⑤現地調査結果を踏まえてPDM案、PO案の作成に協力する。
- ⑥協力の枠組検討に関する実施機関等と協議に参加し、協議結果に基づきM/M(Minutes of Meetings)（案）及びR/D(Record of Discussions)（案）の作成に協力する。

- ⑦評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表（案）の作成に協力する。
 - ⑧上記調査結果を踏まえて、本格協力の実施方法、留意事項等について確認し、計画策定結果に纏める。
 - ⑨担当分野に係る現地調査結果をJICAバングラデシュ事務所等に報告する。
- (3) 帰国後整理期間（12月下旬）
- ① 事業事前評価表（案）の作成に協力する。
 - ② 帰国報告会、国内打ち合わせに出席し、担当分野にかかる調査結果を報告する。
 - ③ 担当分野に係る詳細計画調査報告書（案）を作成するとともに、他の担当分野の業務従事者が作成する報告書（案）を含めた全体の取りまとめに協力する。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおりとする。

- (1) 詳細計画策定調査報告書（案）（和文）
- (2) 事業事前評価表（案）（和文）
- (3) 各協議の議事録
- (4) 収集資料一式

体裁は簡易製本とし、電子データを併せて提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。

航空経路は東京ーダッカ間を計上してください。

- (2) 業務日程／執務環境

- ① 現地業務日程

現地派遣期間は、2014年11月22日～12月12日を予定しています。

本調査団員は機構の団員に数日先行して現地調査を開始する予定です。

- ② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 廃棄物管理／評価分析（コンサルタント）

- ③ 便宜供与内容

JICAバングラデシュ事務所（またはプロジェクトチーム）による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり

- イ) 宿泊手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上
なし
- オ) 現地日程のアレンジ
JICAがアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(3) 参考資料

本業務に関する以下の資料を、2014年10月1日から同3日の間、JICA地球環境部環境管理第一チーム（Yao.Kazuya.2@jica.go.jp）にて配布します。

- 1) バングラデシュ国ダッカ圏廃棄物管理能力強化プロジェクト 要請書（北ダッカ市、南ダッカ市）

また、下記の資料についてはJICA図書館のウェブサイトよりダウンロードが可能です。

- 2) アジアのメガシティ・大都市における都市廃棄物管理の現状と協力課題 基礎情報収集・確認調査報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000009729.html>
- 3) ダッカ市廃棄物管理低炭素化転換計画（環境プログラム無償）概略設計調査報告書 <http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000245813.html>
- 4) ダッカ市廃棄物管理能力強化プロジェクト（延長）終了時評価報告書
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000010273.html>
- 5) ダッカ市廃棄物管理計画調査 ファイナルレポート要約編
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/11785227.pdf>
- 6) The study on the solid waste management in Dhaka City : final report ; Vol. 1～4
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000164900.html>
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000164901.html>
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000164902.html>
<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000164903.html>

(4) その他

業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上